

2月25日 いわた茶会in見付宿西光寺 いわた茶でホッと一息



▲生産者と触れ合いながらいわた茶を味わう参加者

「いわた茶」を味わい、その魅力を再発見してもらおうと「いわた茶会」が開催されました。来場者らは、煎茶を飲み比べたり抹茶や紅茶を味わったり、生産者との会話を楽しんだり、お寺の落ち着いた雰囲気の中で癒しのひとときを過ごしました。

母親と参加した山本天音さん（8歳）と、伶音さん（8歳）は「いろんなお茶がとってもおいしかったです」「来年もまた来たいです」と話しました。

2月24日 磐田市海岸防災林植樹祭 まちを守る防潮堤を育てよう



▲磐田市の安全を願って「大きくなあれ」

磐南浄化センター南側の防潮堤で約550人が参加して海岸防災林の植樹祭が行われ、クロマツやヤマモモ、ウバメカシなどの広葉樹が植樹されました。

鈴木桜ちゃん（2歳）と参加した母親の鈴木恵美子さんは「子どもが成長したときに、安全な磐田市になってほしいという思いで参加しました。植樹した木と一緒に子どもも成長してほしいです」と防災林への思いを話しました。

2月4日 いわたゆきまつり2018 磐田に約100トンの雪がやってきた



▲青空の下、約6,000人の来場者が雪に親しみました

ダンプカーで岐阜県から約100トンの雪を運んで「いわたゆきまつり2018」が開催されました。会場には雪山や雪広場が登場し、多くの親子連れがそりで滑ったり雪遊びをしたりして、市内では普段あまり見ることがない雪に親しみました。

松田岳久さん（9歳）は「そりが思ったよりスピードが出て驚きました。雪は冷たかったけれど楽しかったです」と話しました。

2月17日 磐田北幼稚園新園舎が完成 新園舎に笑顔いっぱい、元気いっぱい



▲温もりのある木造園舎が完成しました

市内で最も古い園舎であった磐田北幼稚園の新園舎が完成し、関係者による竣工式が行われました。

式典では、渡部市長が「皆さんの協力で新園舎が完成しました。新しい園舎で元気に過ごしてください」とあいさつしたほか、出席した園児らから新園舎建設への感謝の気持ちを込めたしゅべいダンスや歌が披露されました。午後には内覧会が行われ、来年度入園予定のお子さんや地域の皆さんが新園舎を見学しました。

写真が動く！
AR動画

ARのマークが付いた写真を専用のアプリを利用して撮影すると、あたかも紙面の写真が動いているかのように動画が再生されます。専用アプリ「ARラボ」は右記2次元バーコードからダウンロードできます。
※アプリのダウンロードや使用にかかる通信料は、利用者負担となります



【ios用】

【android用】

2月8日 (株)ツカサと災害時応援協定を締結 災害への備え、新たな一歩

市では、災害時に緊急物資の集積場所となる地域内輸送拠点に、市民文化会館を指定しています。

市民文化会館が被災して使用できない場合に備え、(株)ツカサと市は「地域内輸送拠点の代替・補完施設に関する協定」を締結しました。同社の小泉禎剛代表取締役社長は「支援を待っている人の所まで、しっかりと物資が届くように協力していきます」と話しました。



1月27日 かいぼり見学・デイ 「かいぼり調査」を公開

竜洋昆虫自然観察公園で、園内にある池の水を抜いて、その中にいる生物を調査する「かいぼり調査」が行われ、その様子が一般に公開されました。



池からは、外来種の肉食魚カムルチー（雷魚）や絶滅危惧種のカワバタモロコなどが発見されました。川口煌太さん（7歳）は「いろいろな生き物を見たり触ったりできて楽しかったです」と話しました。

2月11日 いわた国際ナショナルフォーラム2018 外国の文化に触れてみよう

外国の文化に触れ、国籍を超えてお互いを理解し合うことを目的に「いわた国際ナショナルフォーラム2018」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

会場では、ブラジル人学校の生徒ら約40人によるポルトガル語劇や世界各国の音楽やダンスが披露されたほか、世界の料理も振る舞われ、来場者は五感を通じて多文化に触れ合っていました。



2月8日 地域のお寺で座禅を体験 心と体の健康につなげよう



姿勢や呼吸を整え、園児らの心と体の健康につなげようと、長野幼稚園では毎年地域のお寺で座禅体験に取り組んでいます。



この日は、年長児30人が正眼院を訪れ、足や手の組み方、姿勢など座禅の仕方を教わりながら15分間の座禅に挑戦しました。座禅を体験した園児らは「足を組むのが難しかった」「楽しかった」などと感想を話しました。

2月17日 「磐田っていいな♪」第4回「三十歳in磐田」 30歳の大同窓会に約300人が集結

市の将来を担う30歳の若者の絆を復活させようと、有志27人による実行委員会（大庭竜介委員長）を中心に「第4回30歳の大同窓会三十歳in磐田」が開催されました。

会には過去最多となる約300人が参加し、社会での経験や出産・子育てなど、近況を報告し合いました。お互いの絆を確認した参加者らは「磐田っていいな」と口々に話しました。



2月16日 水谷選手・伊藤選手の母校にイラストを寄贈 リオ五輪の興奮をもう一度

卓球の水谷隼選手、伊藤美誠選手がリオ五輪でメダルを掲げている姿を描いたイラストが、イラストレーターの青野忠男さん（浜松市西区）から、両選手の母校の磐田北小学校、水谷選手の母万記子さん、伊藤選手の祖父母健一さん、町子さんに贈られました。



井口心晴さん（5年）と土屋美樹さん（6年）は「この絵を見て2人のように頑張ります」と話しました。